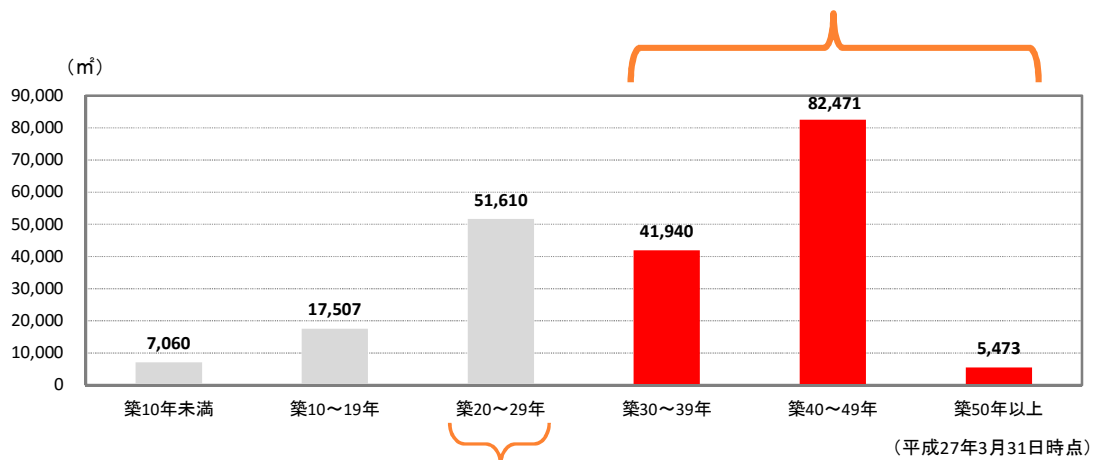


公共施設等総合管理計画の改訂の経過について

- 1 前回会議の復習
- 2 公共施設の量と質の最適化
- 3 改訂の経過
- 4 公共施設マップ

1 光市の公共施設の老朽化状況

- 光市の公共施設の老朽化状況
- 全体の約63%が建築後30年以上経過
⇒大規模な改修の目安



今後、大規模な改修が必要となる可能性がある建物

1 光市の人口の推移

●人口の推移

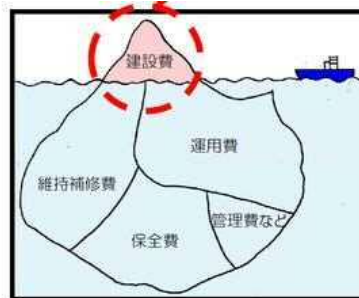
⇒昭和59年をピークに緩やかに減少



1 光市公共施設等総合管理計画とは

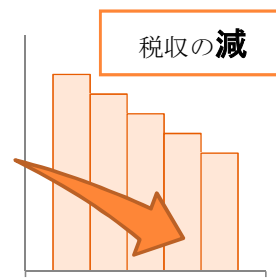
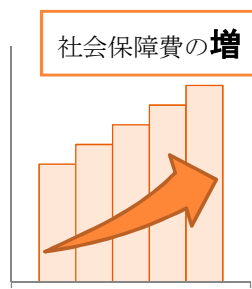
●公共施設の老朽化

⇒建物の維持管理には莫大なお金がかかります。



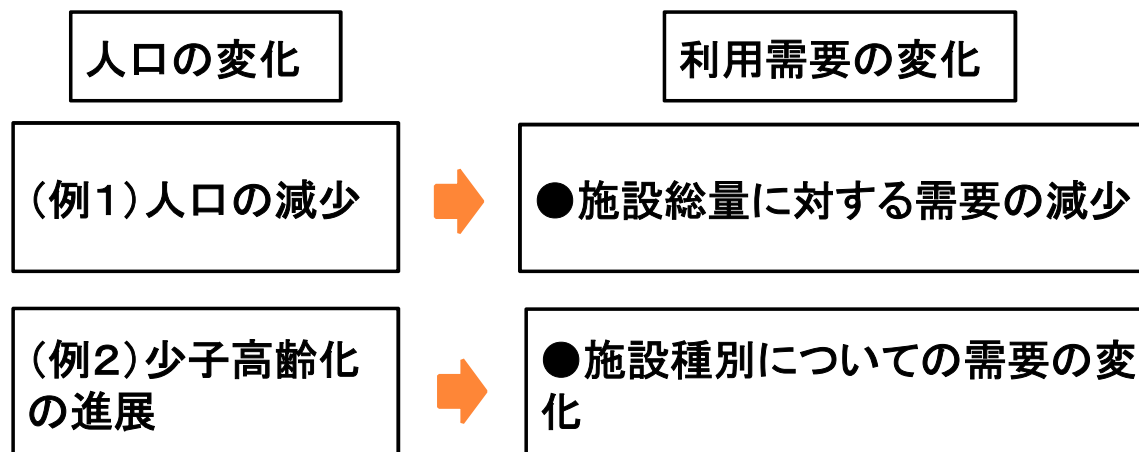
●人口構造の変化による歳入歳出の変化

⇒『社会保障費の増』『税収の減』



➡ 将来世代に大きな負担を残さない為に、人口構造等の変化に伴う行政需要に対応した、公共施設の量及び質の最適化を行う。

1 公共施設の量及び質の最適化



公共施設の量及び質の最適化とは
⇒人口そのものの減少や世代別人口構造等の変化に伴う公共施設の総量の削減と必要とされる施設の質を維持しておくこと。

3 光市公共施設等総合管理計画の改訂の経過

- 計画第5章施設類型別の適正配置等の方向性について各施設所管課に対する調査を実施済み。

➡ 現在所管課と記載内容についての調整中

●今後のスケジュール

- ・令和3年11月:本市民会議で中間案
- ・令和3年12月:議会で中間案
- ・令和4年2月:本市民会議で最終案
- ・令和4年3月:議会で最終案